

今月の題字



熊野第二小学校6年生
武者 雛子さん

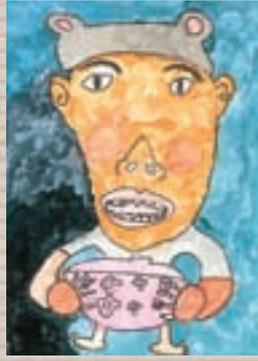
町の人口と世帯数

平成20年12月31日
(前年同月比較)

人口	25,669人	(-162)
男	12,485人	(-64)
女	13,184人	(-98)
世帯数	10,263世帯	(+24)



熊野第二小学校 1年
小田原 優哉
題名「うれしい発表会」



熊野第二小学校 4年
小田原 俊介

晴れた空
小田原 俊介

【評】堂々とした筆遣いで、一面一面をていねいに書いています。名前も全体のバランスを考えて書きました。

【評】初めての学習発表会。自分の顔やおわんを持っている手が細かく丁寧に描かれ、がんばった様子が伝わってきます。

熊野の自然 (233)

ヤマハゼ

(ウルシ科)



熊野町に自生するウルシの仲間には、ハゼノキ、ヤマハゼ、ヌルデ、ヤマウルシです。写真には花も実もなく葉さえありません。でも、冬芽や葉が落ちたあとの葉痕などを観察すれば名前を知ることができます。この冬芽には、サクラなどの冬芽に見られる鱗片がありません。黄褐色の毛がびっしりと生えています。ハゼノキの冬芽は、3〜5枚の鱗片があり無毛なので、ハゼノキではありません。冬芽の下に三角形の葉痕があります。ヌルデの葉痕は冬芽を囲みU〜V字形なのでヌルデでもありません。ヤマウルシの冬芽は、短かめが先が丸くきれいに整っています。ヤマハゼの冬

芽は、やや長めで先が少し乱れています。それで、ヤマハゼだとわかります。

関東以西に分布する落葉小高木です。葉は奇数羽状複葉で互生します。雌雄異株で、5〜6月に葉の腋から黄緑色の小さな花が多数集まって咲きます。実は扁球形でなめらかです。秋に黄褐色に熟します。

ハゼノキの実から蠟燭の蠟をとります。ハゼノキが栽培されるまではヤマハゼの実が利用されていました。別名のハニシは、蠟をとる「壇締」の略と言われます。心材は黄色で、天皇の御衣を染めるのに使われ「黄櫨染」と呼ばれていました。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

債務整理をしたい方
相続問題で困っている方
成年後見制度を利用したい方
不動産の登記をする必要がある方

手遅れになる前に
ご相談下さい

無料相談窓口 082-222-8305
伊藤司法書士事務所まで

熊野町短期雇用者急募!

経済情勢の変動により離職を余儀なくされた方で熊野町在住の方(若干名)

不法投棄防止パトロール等の軽作業業務員

募集期間:平成21年2月13日(金)まで
雇用期間:平成21年3月31日(火)まで
業務時間:9:00~17:00(休憩1時間)
賃金:時給1,000円

生活環境課 ☎820-5606